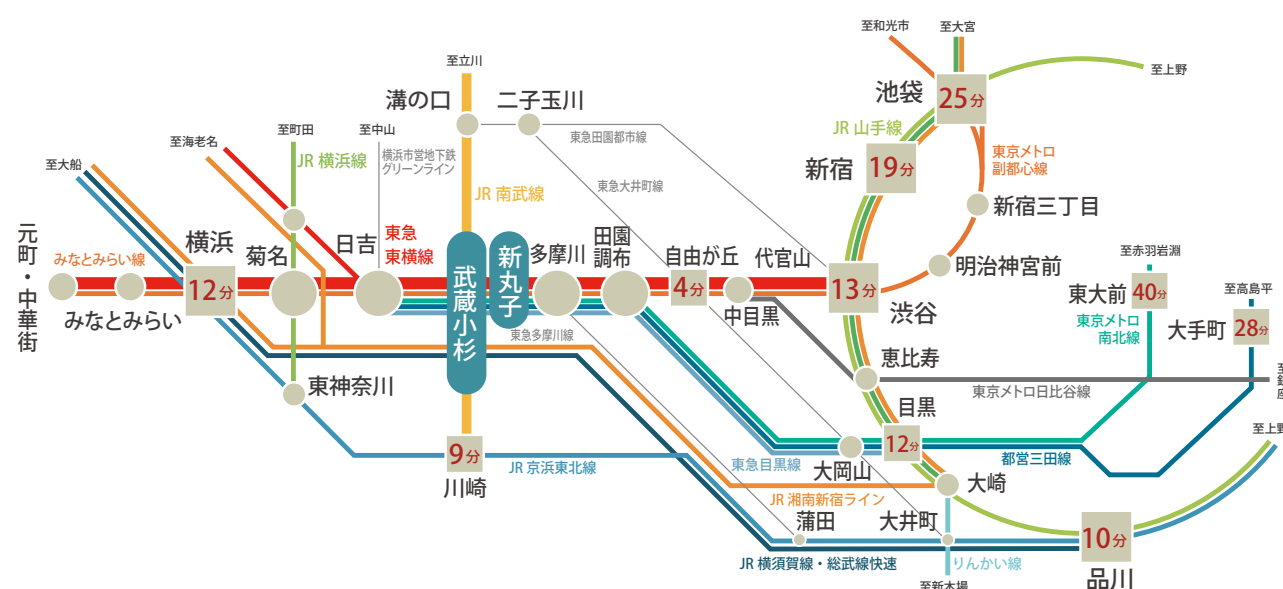


ACCESS



問い合わせ先



日本医科大学 医療健康科学部準備室

〒113-0031 東京都文京区根津1丁目25-16

TEL : 03-3822-2131 (代表) Eメール : kangogakka@nms.ac.jp
<https://www.nms.ac.jp/college/>

《日本医科大学 HPアドレス》
<https://www.nms.ac.jp/college/mchs>

《日本医科大学大学院看護学研究科HPアドレス》
<https://www.nms.ac.jp/college/gsn/>

日本医科大学
大学院HP



◎JR南武線・JR横須賀線・JR湘南新宿ライン・東急東横 目黒線「武蔵小杉駅」徒歩4分
◎東急東横 目黒線「新丸子駅」徒歩4分

～ 入学試験の詳細については、学生募集要項をご覧ください ～

GRADUATE SCHOOL of
NURSING
NIPPON MEDICAL SCHOOL

未来を拓く
専門力。

看護学研究
コース

高度実践
助産学
コース

日本医科大学 大学院看護学研究科
GRADUATE SCHOOL of NURSING, NIPPON MEDICAL SCHOOL

あなたの“看護スキル”の 未来を切り拓きませんか？

日本医科大学は、看護学の発展と
人々の健康に貢献する高度な専門知識と
実践力を備えた人材の育成を目指しています。
科学的・論理的思考力を養い、
全人的な視点を持つ看護職者や研究者を育成するため、
充実した教育環境と最先端の学びを提供します。
本研究科では、看護学の未来を切り拓く意欲を持ち、
地域医療や社会全体の医療の向上に
貢献したいと考える皆さんをお待ちしています。

看護学の専門性をさらに高めたい方、
助産師としてのキャリアを追求したい方、
研究者として看護学の発展に寄与したい方、
ぜひ私たちとともに学び、
成長していきましょう。

日本医科大学
大学院看護学研究科

(12名)

看護学研究
コース

高度実践
助産学
コース



M E S S A G E

日本医科大学 学長
弦間 昭彦

2026年度に日本医科大学は大学院看護学研究科を開設します。この研究科は、特に「立地条件」と「医科大学としての定まった評価」に魅力があると考えています。

「立地条件」ですが、武蔵小杉は開発が進められており、多くの高層ビルをはじめとする整備がなされている地域です。その一方で、多摩川をはじめとする緑や空間のある地域でもあります。田園調布や自由が丘など、彩りを持つ街が隣接しています。また、駅からの利便性も特筆すべき条件ですが、駅から美しく整備された緑道を通して通学することができます。

日本医科大学は150周年を迎える医科大学であり、100年を超える看護教育の実績を持ちます。その長い歴史の中で培われた評価で、確固たる地位を築いてきました。その伝統に甘んじることなく「数理・データサイエンス・AI教育」や救急医療教育を通して一層進化を続けています。

「この上ない立地」と「伝統ある医科大学」という選択肢が、あなたの未来を大きく広げます。進化し続ける伝統校で、最先端の看護を学び、これからの医療を支える存在へと成長してください。日本医科大学大学院看護学研究科であなたの夢を実現する第一歩を踏み出しましょう。



日本医科大学 医療健康科学部準備室 室長
近藤 幸尋

日本医科大学大学院看護学研究科は、隣接する日本医科大学武蔵小杉病院との連携により、実践的な学びを深めることが可能です。さらに、VRやシミュレーターなどの先端技術を活用した教育や、国際的な研究動向を理解するためのプログラムを通じて、グローバルな視点を持つ看護職者や研究者の育成を目指します。社会人学生の学びを支援するため、柔軟な履修制度やオンライン授業の導入も行っています。

2026年4月
武蔵小杉
キャンパス校舎
開設



人々の健康と看護学の発展に貢献する、
高度な看護実践能力と科学的・論理的思考を
備えた人材を養成する。

アドミッション・ポリシー

日本医科大学の学是「克己殉公」と本研究科の教育理念「人々の健康と看護学の発展に貢献する、高度な看護実践能力と科学的・論理的思考を備えた人材の養成」に基づき、広く人々のために尽くす意志をもち、豊かな人間性を備え、質の高い医療者・研究者を目指す次のような者を求める。

- 1 医療・看護の基礎的な知識と思考力を有し、その進歩と発展に貢献できる人
- 2 真理を探究する志を持ち、科学的に解明する意欲のある人
- 3 医療・看護への深い関心を持ち、国際的に活動することに意欲のある人
- 4 リーダーシップを発揮し、高度な看護を实践する意志のある人
- 5 豊かな人間性を有し、多様な価値観を尊重できる人

カリキュラム・ポリシー

- 1 科学的・論理的思考を養う共通科目
- 2 看護学研究者の養成
- 3 高度実践助産師の養成
- 4 学修成果の評価

ディプロマ・ポリシー

● コース共通

- 1 科学的・論理的思考に基づき、医療者・研究者として活躍できる。
- 2 高度化・複雑化する医療に対応し、コミュニケーション能力を活かしてリーダーシップを発揮することができる。
- 3 各分野の知識・教養を有し、科学的な手法で解明し、得られた知見をまとめ発信できる。
- 4 高い倫理観と全人的な視点をもって、医療者・研究者として行動できる。

● 看護学研究コース

- 1 各分野の専門的知識をもち、自ら研究遂行する能力を身につけている。
- 2 各分野における国際的な研究動向を理解し、看護学の発展に寄与する研究に取り組む能力を身につけている。
- 3 研究成果を臨床実践あるいは臨床実践のマネジメントに生かし、当該分野の臨床看護実践の向上に貢献できる能力を身につけている。

● 高度実践助産学コース

- 1 妊娠・分娩・産褥期及び新生児・乳幼児期の母子と家族をケアするための、高度な助産実践能力を備えている。
- 2 性と生殖に関する健康と権利の視点を踏まえ、女性のライフステージに応じた適切な相談、教育、支援を行うことができる。
- 3 助産実践において認識した問題意識に基づき、明確な研究課題を設定し、適切な研究方法を用いて課題の解明に取り組む能力を身につけている。



看護学科と大学院が生み出す、学びと実践の融合

1 一貫した教育体制と看護学の発展

看護学科と看護学研究科を同時に開設し、基礎的な知識から高度な専門知識や研究能力までを一貫して学べる教育体制を構築することで、学部在学中から大学院進学を視野に入れた進路の選択を広げることができます。この一貫教育体制により、学部生が研究や実践に触れる機会を提供し、早期から専門性を高めて看護専門職の在り方を学べます。一方で大学院生は学部生との関わりを通じて看護基礎教育を体験的に学ぶことができる利点があります。

2 教育・研究の相乗効果と地域医療への貢献

学部生と大学院生が同じキャンパスで学ぶ環境は、双方にとって成長を促す場となります。同じ教室で行う科目を設け、学部生と大学院生のディスカッション、共同学習を促進します。学部生は、大学院生から研究姿勢や高度な専門的内容を間近に学ぶことができ、研究に関する知見を深められます。一方、大学院生は学部生と

接してリーダーシップや研究者としての自覚を養うとともに、学部生の柔軟な視点や新鮮な発想から新たな学びを得ることができます。

3 キャリアパスの多様化と国際的視野の育成

学部卒業後、看護師業務に加え、大学院に進学して専門性を向上させたり研究に携わるなど、多様なキャリアパスを提供できます。また、本学の医学部の国際的ネットワークも活用し、国際的な看護学の研究や最先端の看護実践について考察する機会を提供することで、グローバルな視点を持った人材を育成できます。

4 日本医科大学武蔵小杉病院との連携による実践力の向上

医科大学の特長を生かし、キャンパスに隣接する武蔵小杉病院での実習を通じて、学部生や大学院生が高度な医療現場での実践力を養うことができます。また多くの医療専門職との連携を身近に学ぶことができます。

修士課程のカリキュラム構成

看護学研究コース

高度実践助産学コース

共通領域

看護学研究領域

- 基盤創造看護学特論Ⅰ
- クリティカルケア看護学特論Ⅰ
- 慢性期看護学特論Ⅰ
- 精神看護学特論Ⅰ
- 精神看護学特論Ⅱ
- 精神看護学特論Ⅲ
- 精神看護学演習Ⅰ
- 精神看護学演習Ⅱ
- 老年看護学特論Ⅰ
- 老年看護学特論Ⅱ
- 老年看護学特論Ⅲ
- 老年看護学演習Ⅰ
- 老年看護学演習Ⅱ
- コミュニティヘルス看護学特論Ⅰ

高度実践助産学領域

- ウィメンズヘルスクエア論
- 助産学概論
- 性と生殖の基礎学
- 女性・社会・文化と助産学
- 助産学特論Ⅰ
- 助産学特論Ⅱ
- 助産学特論Ⅲ
- 助産学特論Ⅳ
- 助産学特論Ⅴ
- 助産学演習Ⅰ
- 助産学演習Ⅱ
- 継続事例演習
- 周産期ハイリスクケア演習
- 助産学実習Ⅰ
- 助産学実習Ⅱ
- 助産学実習Ⅲ
- 継続事例実習
- コミュニティ助産ケア実習
- コミュニティ家族支援学
- コミュニティ家族支援実践論
- 助産管理演習
- 助産管理演習
- プレコンセプションケア論

大学院の研究紹介

Graduate School Research Introduction

看護学研究科のコースと領域

看護学研究コース

基盤創造看護学

クリティカルケア看護学

慢性期看護学

精神看護学

老年看護学

コミュニティヘルス看護学

高度実践助産学コース

助産学



Examples Research

基盤創造看護学



基盤創造看護学
勝山貴美子教授

変化する状況の中で物事を多角的かつ柔軟に考え、効果的な解決策を創造する

基盤創造看護学とは、看護学の基盤となる学問分野、すなわち看護の対象となる患者を中心に据え、尊厳を尊重した看護の実践(看護倫理学)、人の変化を引き出す看護実践(看護教育学、基礎看護学、看護技術学)、看護の成果を最大にするシステム(看護管理学)を統合した分野であり、変化する状況の中で物事

を多角的かつ柔軟に考え、効果的な解決策を創造する能力を養う学問分野です。

看護学研究コースは、基盤創造看護学分野、クリティカルケア看護学分野、慢性期看護学分野、精神看護学分野、老年看護学分野、コミュニティヘルス看護学分野の6つの専門分野とそれぞれの専門科目を配置しています。

Examples Research

コミュニティヘルス看護学

公衆衛生と地域看護をつなぐコミュニティヘルス研究

コミュニティヘルス看護学では、人々の健康を地域社会の中で維持・向上させることを目的に、公衆衛生看護学および地域看護学に関する課題を研究します。現代のコミュニティには、年齢、生活背景、健康状態の異なる多様な人々が暮らしており、その多様性は拡大しています。このような社会において、健康の保持増進や疾病の予防は、個人の努力だけでなく社会全体で

取り組むべき重要な課題です。

修士課程の看護学研究コースでは、行政における公衆衛生活動、企業での産業保健活動、地域看護実践などを対象に、学生の関心に応じた研究テーマを設定します。研究を通して、実践的視点と自律的な姿勢を養い、これらのコミュニティにおける健康支援のあり方を共に探究します。



コミュニティヘルス看護学
田中美加教授



学びやすい学習環境

看護学研究科は、保健師・助産師・看護師免許の有無に関わらず入学することが可能です。地域で活躍する社会人がさらなる専門性習得のため働きながら大学院に通うことを想定し、長期履修制度の採用や武蔵小杉駅前への大学院校舎の設置、オンライン授業の活用、図書館の整備など、「社会人が通いやすい学習環境の整備」に努めています。また、充実した教員・管理体制、支援体制のもと、学習環境の充実化を図ります。

武蔵小杉駅から徒歩4分に
大学院校舎を整備



いつでもどこでも学べる
充実した教育環境の提供



社会人のための「長期履修学生制度」

職業を有している等の社会人学生で、履修や研究の時間が著しく制限されるため、本研究科の標準修業年限(2年間)を超えて在学しなければ課程を終了できないと考える者に対して、申請のうえ、大学が審査し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。本制度を希望するものは、あらかじめ医療健康科学部準備室に照会してください。



学納金

1.	入学金	200,000円
2.	授業料(実習費を含む)	500,000円(年額)
3.	施設整備費	200,000円(年額)
4.	学生教育研究災害傷害保険料	790円(2年間分)
(内訳/夜間部:200円+通学中等障害危険担保特約550円+接触感染予防保険金支払特約40円)		
5.	学研災付帯賠償責任保険料	1,000円(2年間分)

※ 長期履修学生はこの限りでない。※ 学納金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納付すること。
※ 日本学生支援機構奨学金制度の利用が可能です。